



## パワー浜松ロータリークラブ週報 2015年6月2日号 本年度テーマ: Rotary Mind、Rotary Wayを確認しよう～ 心で感じて・考えて・活動しよう～

パワー浜松ロータリークラブ (2014-15 年度会長: 小林昭次)  
〒430-7733 浜松市中区板屋町111-2 オークラクトシティホテル浜松 4307 号室  
Tel: 053-452-0800 Email: info@power-hamamatsurc.jp  
http://www.power-hamamatsurc.jp

創立: 2002年10月22日 認証伝達式: 2003年4月29日 スポンサークラブ: 浜松中RC



### 第582回例会 6月2日 AM7:30～8:30

オークラクトシティホテル浜松3Fチェルシーの間

- 司会: 西尾文克 鷺津有一 ●点鐘: 小林昭次
- ゲスト: 米山記念奨学生 于春蘇さん、浜松東RC池浦捷行  
浜松南RC小野真人様
- 議事: 国際奉仕委員会「海外とのグローバルなパートナーシップを目指して」

<出席報告>本日出席率70名 89.7% 前々回出席率89.8%



### ■会長挨拶

小林会長:

皆さんおはようございます。本日は臨時総会を開いて会費値上げについて審議頂く予定でしたが、改正の細則を見ますと、告知後10日の期間を空けないと開催不可という事がわかりました。大変申し訳ないのですが、次回改めて開催し決定したいと思います。不手際をお詫び申し上げます。

この時期になりますと当社の採用業務は終了しているのですが、今年は時期がずれて例年の8割位の進行です。毎年50人くらいの新卒者を採用するのですが2～3ヶ月で辞める者が出てきます。定着率の悪化を改善する為に今年から幹部の社員が面談をして悩みを聞いたり相談相手になったりと、入社してからの3年間は若手社員の面倒を徹底してみようという取り組みをしております。せっかく縁があって入社した社員ですので5年我慢できれば間違いなく1人前になります。その後転職しても役に立つという自信がありますので、とりえず3年間は社員を一人も辞めさせないという会社でありたいという事でルールを決めて今年から実施しています。皆様の会社では、社員の定着の為にどんな方法をとっているのか、何かいい案がありましたらお知らせ頂きたいと思っております。

今日は本来ならば臨時総会に時間を割く予定でしたが、このような結果になりまして大変申し訳なく思います。来週は何卒よろしく願います。以上です。

### ■幹事報告

末広幹事:

会費値上げの件につきましては何年も前から話が出ていましたが、毎年予算が少なく、単年度に付きましても資金がマイナスの収支決算になっています。3/24の理事会で承認を頂きました。従いまして、今回2000円アップを皆様をお願いします。RIの寄付金も従来の100ドルが150ドルになります。ご報告が遅くなりましたことをお詫び申し上げます。来週臨時総会を開かせてもらいます。

### ■委員会報告

次年度幹事 鈴木孝尚さん:

8/1に地区の社会奉仕事業として、第6回富士山クリーン作戦があります。参加される方はメールでご連絡下さい。

米山奨学金 于春蘇さん:

天気がだんだん暑くなりました。こちらは私の母です。中国から来ました。9ヶ月ぶりですが母は相変わらず綺麗だと思っております。先週土曜日に太古祭りに参加しました。

### ■スマイル

国際奉仕委員会 八田峰夫、長谷川博久さん:

竹林さん、本日は本当にありがとうございました。興味深い内容で大変勉強になりました。国際奉仕委員会は今年一年、竹林さんが実質的な委員長として活躍していただきました。一年間本当にありがとうございました。

米山委員会 中野敬司さん、村田誠さん、小澤邦比呂さん:

本日は早朝より米山奨学生于春蘇(ウ・シュンソ)さん、お母様の曹琳(ソウ・リン)様にお越し頂きました。お母様は8月中旬まで滞在する予定だそうです。どうぞ素晴らしい日本を満喫し、また機会があれば当クラブ例会に出席していただきたいと思っております。本日はありがとうございました。

高貝亮さん:

6月5日よりRI国際大会出席の為、ブラジル サンパウロに参ります。ロータリーについてたくさん勉強すると共に10年ぶりのブラジルを楽しめます。

坂井光蔵さん:

弊社のホームページに社長ブログのコーナーが有ります。2～3ヶ月に1回程度しかアップしてなくて、取引先からも、もっと上げて下さいと言われていたのですが、一昨日のビュー数が500件を越えていました。過去最高は一日14000件という事もありましたが、ひま人と云うか物好きな人が多いんですね。ひまが有ったらのぞいてください。

## ■ 議事

国際奉仕委員会 竹林会員：

「海外とのグローバルなパートナーシップを目指して」

私はチャーターメンバーですが、卓話をするのは今回が初めてです。会社を創業して 30 年になります。もともとはヤマハ発動機にいまして、元 PRC 初代会長の秋山さんと一緒に退職しました。YH 戦争があった時に、ヤマハの若い優秀な人々が会社を辞めましたが秋山さんもその時やめてソフトハウスを作りました。私もその時やめて研削の世界に飛び込みました。自動車関係の研削砥石の会社です。お客さんはトヨタ、日産、ホンダなどほとんどの日本の自動車メーカーですが、最近はドイツのダイムラーとフランスのルノーからオファーが有ります。

もの造りの原点は人類誕生の時から磨くと切るが基本です。日本刀では天然石による研磨が最後の仕上げです。シリコンウェーハにもナノの世界で研磨が使われます。携帯電話やコンピュータにも使われているチップが誤作動しないように表面を鏡面研磨するわけです。

鉱物の中でダイヤモンドは地球上で一番固いものですが、それは 1700 年代ぐらいになってから知られるようになりました。ダイヤモンドができる原因は、隕石が地球にぶつかった時の接触でできる、あるいは大地震の時に地球の最深部で作られられるといわれています。人工ダイヤモンドは過去にいろいろな人が挑戦しましたが、なかなかできませんでした。1950 年代にエジソンが作った GE 社が初めて合成に成功しました。ダイヤモンドのように硬くて、熱にも強い物質は今から 60 年前にできた CBN

(立方晶窒化ホウ素) です。CBN の活躍の場は自動車のエンジンです。今まで一般に使われていた一般砥石より 50 倍の寿命があるので、オートメーションの世界ができるようになりました。また CBN で加工すると一番きれいにできます。F1 のエンジンは高出力が必要ですが、今の二輪はほとんどドイツのマーレという会社で開発された技術で走っています。しかし自動車は違って、黒鉛の鑄鉄で作られています。私は 1985 年にホンダに相談されて F1 に使える砥石と一緒に研究しました。ホンダは 10 年ぐらい連戦連勝し、フェラーリからその砥石を紹介してくれと言われましたが、当時の私は国粹主義者で断りました。エンジンは 130 年の歴史があります。カール・ベンツとダイムラーは同時期にエンジンを開発していま

した。ガソリンエンジンだけでなくディーゼルエンジンも、エンジンは皆ドイツ彼生まれました。これは面白いですね。エンジンは鑄鉄しか使えませんが、黒鉛が中に分散されています。そのため高速回転でもエンジンが焼き付かないのです。

CBN が従来の GC (グリーンカーボナイト) よりも優れていることは認識されていましたが、実用化になった砥石は世界にありませんでした。そこで我が社、サクラアイ・ディーと大阪の会社が共同研究して世界ではじめて開発しました。これを使うと、半分の時間で加工が出来ました。トヨタは 2004 年に使い出してワンラインで 1000 台しか加工できなかったものが、2000 台できるようになりました。最初トヨタと日産でしか世界で使われていませんでしたがダイムラーとは今、次世代エンジンの話が進んでいます。

5~6 年前に世界でトヨタ叩きが有りましたが、うちの砥石の供給が止められそうになったその時、私は会員の塩谷さんに大変助けられました。

自動車に関して新しい技術は常にドイツで生まれます。ドイツの街シュトゥットガルトは 70 万人の人口ですが、自動車の街でいろいろな車の会社が集まっています。自動車のもの造りの原点のような街です。

パリにルノーの開発拠点が有りますが、今当社はルノーが本命です。また、これからはマリンエンジンにも取り組んでいきたいです。

私の会社は 10 名しかいない会社ですが、技術力があれば世界と一緒に仕事をしていけます。これからも楽しく仕事をしていきたいと思っています。

